

留学報告書：2024年12月

花田美月

2021年度奨学生の花田美月です。UC Berkeley 数学科の博士課程に所属しています。この報告書では4年秋学期についてご報告いたします。

4年目になり、院生活も落ち着いてきました。TAの仕事をはじめとする研究以外のことにも慣れ、時間をかけすぎずにこなせるようになりました。今学期は一人で書いた論文を出したり、セミナーで発表したり、ようやく一人前になりつつあるのかなと実感しています。しかし、論文を仕上げて以降結果を出せずにいるため、落ち込んでいます。といっても焦っても仕方がないので、考え込みすぎず、自分の機嫌をうまく取りつつコツコツ努力を続けられたらいいな、と思っています。

バークレーの数学科は5年で卒業する人が半数ぐらいいるため、同期の中でも卒業を意識した会話をする機会が増えています。私も、そろそろ卒業後の進路についても真剣に考えていかなきゃいけない時期に差し掛かっています。他の大学の友達と話していると、6年で卒業するのがデフォルトの学校も多いみたいで、無理して5年で卒業せずに6年かけてもいいのかなと考えているところです。

研究以外でいうと、陶芸教室に通い始めました！自分で息抜きの時間を作るのが苦手なので、何かしらのレッスンに通うことによって強制的に作るようにしました。頭を空っぽにしてもものを作る時間を通してリフレッシュできてより一層仕事に集中できました。また、自分で作ったボウルやマグカップで朝ごはんを食べるのが日課になっています。

また、大学時代のお友達と一緒にジャムのアドベントカレンダーを買いました。友達はボストンに住んでいるので普段なかなか会えないのですが、新しいジャムを開けるたびに感想や写真を送り合ったり、遠距離でも一緒に楽しめてよかったです。今は24個の空き瓶をどう使おうか悩んでいます。

今年の年末は日本に帰らず、アメリカ国内を旅行する予定です。来学期も学会やワークショップなどで遠出をする予定も少しずつ決まってきているので、年末年始はリフレッシュしつつゆっくりできたらいいなと思っています。

最後になりましたが、さまざまな形でご支援をしてくださっている船井情報科学振興財団の皆様にご心より感謝申し上げます。